

## あわじ石の寝屋緑地の自然共生サイトの認定決定について

### ● 概要

令和4年12月に開催されたCOP15での国際目標「30by30（陸域と海域の30%以上を保全）」に基づき、環境省が令和5年度に創設した生物多様性に貢献する地域の認定制度「自然共生サイト」に認定申請していた「あわじ石の寝屋緑地」が自然共生サイトとして認定されました。

県立都市公園としては「尼崎の森中央緑地」に続き2例目となります。

### ● 「あわじ石の寝屋緑地」について

あわじ石の寝屋緑地は明石海峡を望む淡路島北端の丘陵地に位置し、緑豊かで良好な自然環境を残す地域です。

明石海峡大橋及び淡路縦貫道の開通に伴い、大橋周辺地域において無秩序な開発を抑制し緑地の保全を図るため、平成18年度より整備を進め、平成27年4月から開園しています。

ウバメカシやコナラの林、小さなため池など、様々な環境が集まっており、まさに淡路島の里山景観そのものが残されています。

また、海人（あま）のお墓だといわれる石の寝屋古墳群があり、岩屋の海に真珠を採りに潜った海人の男狭磯（おさし）の伝説が今に言い伝えられています。



森の広場



見上げる展望台

## 申請の際のPRポイント

- 本サイトの棚田跡地を活用したビオトープや古いため池は、水生生物やトンボ類などの良好な生息環境となっている。
- 兵庫県版レッドリスト掲載植物の生育環境にもなっており、希少種の保全に貢献している。
- 里地里山環境を活かし、周辺の小学生を対象とした環境学習では里山の自然と文化を体験できる場を提供している。
- 近隣の大学の研究対象地としても利用されている。



いきもの田んぼで確認したタイコウチ



環境学習の様子



いきもの田んぼで確認したキイトトンボ



コオイムシ